

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 585-2967】  
【あつかし歴史館 585-4520】



Vol.96

## あつかし歴史館「こどもの日イベント」

大木戸歴史むらづくりの会との共催で開催した「こどもの日イベント」が5月3日に行われ、町内外から約200名が参加しました。

100匹のこいのぼりが泳ぐ会場では、子ども服などの「おさがり交換会」や地元野菜や飲食物などを販売した「あつかし茶屋」にたくさんの親子が訪れ大盛況。こいのぼりパーパークラフトとエアロケットづくりのワークショップでは、子どもたちが好きな絵や模様を描き、楽しんでいる様子が伺えました。



作ったエアロケットを思いきり飛ばしました



みんなで楽しくこいのぼり作り



青空を泳ぐ100匹のこいのぼり

## 鳥取福源寺地蔵庵観音堂 秘仏「馬頭観世音菩薩」特別公開

5月5日、6日の両日、国見町有形文化財の鳥取福源寺地蔵庵観音堂で秘仏「馬頭観世音菩薩」が23年ぶりに御開帳（特別公開）されました。

鳥取観音と呼ばれるこの観音像は、室町時代初期に創建し、江戸時代には信達三十三観音霊場の第21番礼所となり、多くの信仰を集めました。現在の観音堂は土蔵造りで、色鮮やかな天井絵も描かれています。当日は無病息災や心願成就を祈願する多くの参拝者が訪れ、地域の方々がおもてなしをしていました。



23年ぶりに公開された「馬頭観世音菩薩」

### 歴まちインフォメーション

### あつかし歴史館「七夕の日イベント」を開催します

大木戸歴史まちづくりの会と連携して、七夕を祝うイベントを開催します。熱中症対策のうえ、ぜひご参加ください。

- 日時 7月26日(土) 午前10時から午後1時
- 集合 あつかし歴史館
- 内容 親子で楽しめるワークショップ、めだかすくい、流しそうめん(有料)、あつかし茶屋、マルシェを予定しています。



今年もやります！流しそうめん！！

## 地域おこし協力隊活動日記



### 「国見町ふつつ演劇部」を始めました

はらだ つむぎ  
原田 つむぎ

年明けに小さな演劇部を立ち上げました。名前の由来は、ふつつ湧いた色々なアイデアや喜怒哀楽の感情を大切にしたいという意味があります。町内外の10代から60代の素敵な部員が集まってくださり、ほとんどの方が演劇未経験。3月に公演することを目標にゆるやかに活動中です！

また、伊藤愛さんが手がけた冊子「写真で見る国見スポット」もぜひご覧ください。



▲5/24, 25に開催したワークショップ



▲「ふつつ演劇部」の顔合わせの様子



### 新「写真で見る国見スポット」町内各所で配布中！

いとう あい  
伊藤 愛

冊子「写真で見る国見スポット」の総集号をリリースしました。町公式Instagram「ふたつの空と、いくつもの私と、」の素敵な写真とともに制作しました。取材やデザインする時間がとても楽しく、こうして形にできたのは協力いただいた皆様のおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。見かけた際は、ぜひお手に取っていただくと嬉しいです！



▲この表紙が目印です



▲おすすめスポットが盛りだくさん！

昔はこの家でもお酒を作っており、いわゆるどぶろくを作っていました。これは明治29年までのことで、これ以降は醸造元だけがお酒を作ることができ、清酒は国税の財源として、国税全体の2割から3割を占めたといえます。つまりお酒の密造は国税の大敵、見つければ大変重い罰金を課せられたそうです。

酒は高く、そうそう買えるものではなかったもので、この家もこっそり作っていました。一番恐いのは酒税官。突然現れ、家中を探し回り、摘発にかかる。人々は万が一に備えて、畑の隅に穴を掘ったり、トタンで囲って細工をしているふりをしました。税官が来たとなれば風のように情報が流れ、誰かが税官にいたらと話しかけ、隠すための時間稼ぎをしたとか。



国見の民話  
かるた  
【第二十六回】  
密造酒のはなし  
【ほらかくせ酒税官くるぞ密造酒】